

平成26年度予算 教育委員会 主要施策

教育委員会では、「元気発進！北九州」プランの部門別計画である「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」及び「北九州市生涯学習推進計画」を着実に推進しています。

子どもの教育の分野では、依然として全国平均を下回っている子どもの学力・体力や、東日本大震災の教訓を踏まえた防災・安全教育の推進、いじめ問題等の課題などを踏まえ、教育プランの改訂を行いました。平成26年度は、改訂した計画の初年度となることから、市民への積極的な広報・啓発を行うとともに、計画に掲げる施策の実現に向けて、各取組みを強力に推進します。

また、生涯学習の分野では、生涯学習推進計画に掲げる「市民が学び、つどい、輝くまち、北九州市をめざして」を目標に、まちづくりを支える人材の育成に向けた取組みの一層の充実を図るとともに、現計画が平成27年度に終了することから、新たな計画の策定に向けた調査、検討を行います。

さらに、「緑の成長戦略で、人にやさしく元気な街づくり！」に掲げられた、確かな学力を身につけるための新たな学習支援や、経済界との連携による学校支援など、子どもたちがいきいきと学習や活動ができるよう必要な取組みを進めます。

◇ 子どもの教育に関する分野

- 1 いじめ対策の充実
- 2 「(仮称) こどもひまわり学習塾」事業
- 3 学校の読書活動推進事業
- 4 英語・外国語活動の推進
- 5 ICT活用モデル事業
- 6 特別支援教育の充実
- 7 学校施設の防災機能の強化
- 8 学研地区における小学校新設事業
- 9 地域と連携した学校支援
- 10 「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」(改訂版) 広報事業

◇ 生涯学習に関する分野

- 11 小倉南図書館整備推進事業
- 12 「北九州市生涯学習推進計画」次期計画の策定

教育委員会総務部企画課

TEL: 582-2357 ※個別の事業の内容については、各担当課へ
担当(松成・遠近) お尋ねください。(P7参照)

◇ 子どもの教育に関する分野

1 いじめ対策の充実 [419,896 千円]

「いじめ防止対策推進法」の趣旨を踏まえ、いじめ対策を充実していく上での体制整備を図るとともに、いじめ問題に関する普及・啓発活動の充実や、児童生徒の円滑な人間関係構築のための「北九州市対人スキルアッププログラム」の作成等により、いじめ対策の充実を図る。また、学校支援のための市費講師や、スクールソーシャルワーカー（注1）、スクールカウンセラー（注2）の配置を行うとともに、ネットトラブルの防止に向けた取組みを行うなど、いじめ等の児童生徒の問題行動への対応を強化するための事業を実施する。

（注1）スクールソーシャルワーカー

社会福祉士又は精神保健福祉士の資格を有し、不登校や暴力行為、児童虐待など、問題を抱える児童生徒が置かれた複雑な家庭環境に働きかけたり、関係機関との連携の強化を図る職員。

（注2）スクールカウンセラー

児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有する臨床心理士などの「心の専門家」。全中学校に配置、全小学校に派遣。

【事業内容】

○いじめ対策の充実【5,700 千円】

- ・「いじめ防止基本方針」の作成、配布
- ・児童生徒の円滑な人間関係構築のための「北九州市対人スキルアッププログラム」の作成
- ・「いじめ防止サミット（フォーラム）」の開催 など

○心の教育推進事業【9,040 千円】

- ・北九州道徳教育推進事業
- ・伝統文化体験事業 など

○スクールソーシャルワーカー活用事業の充実【34,000 千円】

○スクールカウンセラーの配置【135,554 千円】

○学校支援のための市費講師配置事業の一部【198,190 千円】

○少年サポートチーム推進事業【27,512 千円】

- ・学校、教育委員会、警察等の関係機関が相互に連携し、問題行動の未然防止や早期解決に取り組む

○ネットトラブル等防止及び啓発・研修事業【9,000 千円】

- ・「掲示板」サイト等の巡回監視や学校への技術的なサポート
- ・無料通話アプリに関連したトラブル防止を含む研修や啓発

○補導対策事業補助【900 千円】

2 ⑨ 「(仮称) こどもひまわり学習塾」事業 [67,000 千円]

基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るため、学校の希望を募り、小学校3年生から6年生及び中学校3年生を対象（小学校：30校程度、中学校：10校程度）に、放課後等に補充学習を行う「(仮称) こどもひまわり学習塾」を実施する。

3 学校の読書活動推進事業 [78,300 千円]

学校における読書活動を推進するため、学校図書館嘱託職員やブックヘルパーを配置し、学校図書館における読書環境の充実を図る。

【事業内容】

学校図書館嘱託職員：21名 ⇒ 27名

ブックヘルパー配置校数：全小中学校に配置

4 英語・外国語活動の推進 [348,523 千円] (他に債務負担 278,200 千円)

英語・外国語活動の指導を充実させるため、全小中学校にALT（外国語指導助手）を配置し、英語を使ったコミュニケーション活動を推進する。

また、中学校3年生全員を対象に、新たに英検3級程度の英語能力判定テストを実施し、その分析結果を英語指導の改善や自己学習の強化に活用する。

【事業内容】

○小学校外国語活動補助事業【184,900 千円】(他に債務負担 184,900 千円)

○中学校・高等学校外国語指導助手配置事業【160,752 千円】(他に債務負担 93,300 千円)

○学力向上推進事業の一部(英語能力判定テスト)【2,871 千円】

5 ⑨ ICT活用モデル事業 [9,000 千円]

モデル校において、個々の能力に応じた個別学習、協働型・双方向型の授業の実現に向けて、タブレット型端末などICTを活用した指導方法について研究を行い、児童の確かな学力の育成への効果について検証する。

6 特別支援教育の充実 [1, 222, 777 千円] (他に債務負担 2, 661, 500 千円)

知的障害と病弱の児童生徒を対象とする特別支援学校を、旧門司商業高校跡地に新設するため、校舎新築工事等に着手するとともに、総合療育センターの再整備に伴い、企救特別支援学校の校舎の再整備を実施する。

また、発達障害等、教育上特別な支援を必要とする児童に対する適切な指導・支援の充実を図るため、新たに特別支援教育学習支援員を配置する。また、特別支援教育介助員や市費講師、看護師などそれぞれのニーズに応じた人材を配置する。さらに、障害のある生徒の就労を支援するため、就労支援コーディネーターを配置し、実習・就労協力企業の開拓を行う。

【事業内容】

○東部地域における特別支援学校の整備【693, 500 千円】(他に債務負担 2, 318, 500 千円)

新規○総合療育センター再整備に伴う特別支援学校整備事業【264, 800 千円】

(他に債務負担 343, 000 千円)

新規○特別支援教育学習支援員の配置【9, 500 千円】

発達障害等、教育上特別な支援を必要とする児童に対する学習支援等を行う、特別支援教育学習支援員を新たに配置する。

○特別支援介助員の配置【30, 000 千円】

通常の学級に在籍する肢体不自由の児童生徒に対する学習面や生活面の介助を行う、特別支援教育介助員を配置する。

○特別支援学校における緊急時対応体制整備事業【19, 441 千円】

肢体不自由特別支援学校に在籍する児童生徒の医療的ケアや緊急時に対応するため、北九州特別支援学校及び八幡西特別支援学校に看護師を配置する。

○学校支援のための市費講師配置事業の一部【57, 538 千円】

○特別支援学級補助講師の配置事業【118, 300 千円】

○市立幼稚園における特別支援教育のための市費講師配置事業【17, 600 千円】

○特別支援教育推進事業(就労支援事業)【12, 098 千円】

7 学校施設の防災機能の強化 [1,464,460千円] (他に債務負担403,000千円)

学校施設に必要な耐震性能を確保するため、耐震補強工事(計28校)を順次実施する。

また、災害時の避難場所でもある学校施設の安全と安心を確保するため、吊り天井がある武道場について、落下防止を図ることを目的として、実施設計等を行う。

【事業内容】

○耐震補強事業【1,446,100千円】(他に債務負担403,000千円)

補強工事：28校(小学校11校、中学校15校、特別支援学校2校)

※耐震化率 平成25年度末82.5%(予定) ⇒ 平成26年度末93.5%(予定)

新規○天井等非構造物落下防止事業【18,360千円】

実施設計：20校(中学校19校、高等学校1校)

8 学研地区における小学校新設事業 [1,015,000千円]

北九州学術研究都市地区における児童数の急増に対応するため、新設する小学校の用地取得及び基本・実施設計等を行う。

9 地域と連携した学校支援 [28,600千円]

企業がもつ人材や経営のノウハウなどを生かし、出前授業や児童向けの体験学習、教職員を対象とした研修への講師派遣などを行う「経済界との連携による学校支援事業」の対象校を拡大する。

また、教員が子どもと向き合う時間の拡充や地域の教育力の向上を図るため、地域の協力のもと学習支援をはじめ様々な学校の要望に応じた教育活動を支援する「学校支援地域本部事業」の実施校を拡大する。

【事業内容】

○経済界との連携による学校支援事業【5,000千円】

対象校数(小学校)：13校 ⇒ 40校(予定)

○学校支援地域本部事業【23,600千円】

実施中学校区数：28中学校区 ⇒ 42中学校区(予定)

10 **新** 「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」(改訂版) 広報事業 [3,500 千円]

平成26年度にスタートする教育プラン(改訂版)について、学校・家庭・地域を挙げた取組みとなるよう幅広く市民へ周知するため、広報啓発用ポスター、リーフレット等を作成する。

◇ **生涯学習に関する分野**

11 小倉南図書館整備推進事業 [25,600 千円] (他に債務負担 34,800 千円)

小倉南区の地区図書館整備に向けて、基本・実施設計等を行う。

12 **新** 「北九州市生涯学習推進計画」次期計画の策定 [1,600 千円]

現行の「生涯学習推進計画」が平成27年度に終了することから、平成26年度から平成27年度にかけて次期計画策定のためのアンケート調査および検討委員会を開催する。

教育委員会主要施策に関するお問い合わせ先

	主要施策（事業）名	主担当課
1	いじめ対策の充実	指導第二課（582-2367）
2	「（仮称）こどもひまわり学習塾」事業	指導企画課（582-2367）
3	学校の読書活動推進事業	指導第一課（582-2367）
4	英語・外国語活動の推進	指導第一課（582-2367）
5	I C T活用モデル事業	指導第一課（582-2367）
6	特別支援教育の充実 ①東部地域における特別支援学校の整備 ②総合療育センター再整備に伴う特別支援学校整備事業 ③特別支援教育学習支援員の配置 ④特別支援教育介助員の配置 ⑤特別支援学校における緊急時対応体制整備事業 ⑥学校支援のための市費講師配置事業 ⑦特別支援学級補助講師の配置事業 ⑧市立幼稚園における特別支援教育のための市費講師配置事業 ⑨特別支援教育推進事業（就労支援事業）	①② 企画課（582-2357） ⑥⑦⑧ 教職員課（582-2372） ③④⑤⑨ 特別支援教育課 （582-2361）
7	学校施設の防災機能の強化	施設課（582-2361）
8	学研地区における小学校新設事業	施設課（582-2361）
9	地域と連携した学校支援	生涯学習課（582-2385）
10	「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」 （改訂版）広報事業	企画課（582-2357）
11	小倉南図書館整備推進事業	生涯学習課（582-2385）
12	「北九州市生涯学習推進計画」次期計画の策定	生涯学習課（582-2385）